

各府省が実施した政策評価についての審査 — 平成14年度総括—

平成15年7月

総務省行政評価局

目次

はじめに

Ⅰ 序論

1 「審査」について

- (1) 政策評価制度の導入と「審査」の位置付け
- (2) 審査の視点
- (3) 政策評価の在り方(効果の把握)と政策評価の方式
 - ア 政策評価の在り方(効果の把握)についての法の枠組み
 - イ 政策評価の方式の種類
- (4) 評価の実施件数と評価書の送付時期
 - ア 評価の実施件数
 - イ 評価書の送付時期

2 新たな指摘・提言等の概要

- (1) 総論関係
- (2) 各論関係
 - ア 個々の公共事業についての評価
 - イ 総合評価方式を用いた評価

II. 総論

- 1 政策効果の把握と評価のアプローチ
- 2 評価のアプローチと評価の対象となる政策の単位 (レベル)
 - (1) 評価の対象とする政策の単位 (レベル)
(主要な行政目的に係る政策についての評価)
 - (2) 事務事業のレベルの政策についての評価
 - (3) 施策のレベルと事務事業のレベルの政策についての評価の組合せ
(各府省の取組)
- 3 事前評価と事後評価の関連付けと評価のアプローチ
 - (1) 評価の対象
(事前評価の対象)
(事後評価の対象)
 - (2) 事前評価と事後評価の関連付け
(各府省の取組)
- 4 政策評価を充実させていくための今後の課題
(評価結果の政策への反映)
(事務事業のレベルの政策についての事後評価 (事後の検証) の実施)

III. 各論

審査の整理区分について

- 1 実績評価方式を用いた評価
 - (1) 評価方式の特性と評価の枠組み
 - ア 実績評価方式の特性
 - イ 評価の枠組み
(評価の方式)
(評価の対象とする政策の範囲とその単位)
(目標及び目標期間の設定)
 - (2) 評価の実施状況
 - ア 審査の対象 (評価書の送付時期と評価の実施件数)
 - イ 評価の手法

- (ア) 目標に関し達成しようとする水準の数値化の状況
- (イ) 目標期間の設定状況
- (ウ) 目的と手段との対応関係
- ウ 学識経験を有する者の知見の活用
- エ 各府省における工夫の状況
- (ア) 評価結果の分かりやすい整理等
- (イ) 評価をより有効なものとするための工夫
- (3) 評価の実効性の向上に向けて
 - (実績評価における評価の枠組みについて)
 - (審査の視点の充実等)

2 事業評価方式を用いた評価

- (1) 評価方式の特性
- (2) 評価の対象と実施時期
 - (事前評価)
 - (事後評価)

2-1 研究開発を対象とする評価

- (1) 評価の枠組みと評価の方法
 - ア 研究開発を対象とする評価の枠組み
 - イ 研究開発を対象とする評価の方法
 - (ア) 評価の対象
 - (イ) 評価の時点別区分
 - (ウ) 政策効果の把握
 - (エ) 評価の観点
 - (オ) 学識経験者の知見の活用
 - (カ) 評価結果の取扱い
 - ウ 総合科学技術会議の役割
- (2) 評価の実施状況
 - ア 審査の対象
 - (ア) 評価書の送付時期と評価の実施件数
 - (イ) 評価の対象とされた研究開発課題及び研究開発施策の件数
 - イ 研究開発課題の評価
 - (ア) 研究開発課題の資金区分別件数
 - (イ) 必要性の観点からの評価

- (ウ) 有効性の観点からの評価
- (エ) 効率性の観点からの評価
- (オ) 学識経験を有する者の知見の活用 (外部評価の実施状況)

ウ 研究開発施策の評価

エ 総合科学技術会議の活動

(3) 評価の実効性の向上に向けて

ア 研究開発課題について

イ 研究開発施策について

2-2 個々の公共事業についての評価

(1) 評価の枠組み

ア 個々の公共事業についての評価

イ 評価対象の単位と評価の時点別区分

(2) 評価の実施状況

ア 審査の対象

(ア) 評価書の送付時期と評価の実施件数

(イ) 評価の対象とされた個々の公共事業の件数

(ウ) 事業種別ごとの評価対象とされた事業の件数

(事前評価)

(再評価)

(完了後の評価)

イ 評価の手法

(事前評価)

(再評価)

(完了後の評価)

ウ 学識経験を有する者の知見の活用

エ 評価で使用した資料その他の情報

(3) 評価の実効性の向上に向けて

(評価の方法の改善について)

(評価結果の外部検証可能性の確保について)

2-3 事業評価方式を用いたその他の政策についての評価

(1) 評価の枠組み

ア 事前評価

(ア) 評価の対象

- (イ) 政策効果の把握の手法
 - イ 事後評価(事後の検証)
 - (2) 評価の実施状況
 - ア 審査の対象
 - (ア) 評価書の送付時期と評価の実施件数
 - (イ) 評価の対象とされた政策の概況
 - イ 評価の手法
 - (ア) 必要性の観点からの評価
 - (イ) 有効性の観点からの評価
 - (各府省の取組)
 - (ウ) 効率性の観点からの評価
 - (費用に見合った便益についての判断)
 - (代替手段との比較等)
 - ウ 学識経験を有する者の知見の活用
 - エ 類似事業に関する検討等
 - (3) 評価の実効性の向上に向けて
 - (政策効果の定量的な把握)
 - (事後評価を活用した有効性の検証への取組)
 - (効果(便益)の貨幣換算化)
 - (規制についての評価の在り方)
- 3 総合評価方式を用いた評価
- (1) 評価方式の特性と評価の枠組み
 - ア 総合評価方式の特性
 - イ 評価の枠組み
 - (2) 評価の実施状況
 - ア 審査の対象
 - (ア) 評価書の送付時期と評価の実施件数
 - (イ) 評価の対象とされたテーマ
 - イ テーマ設定の主眼と評価の実施状況
 - ウ 学識経験を有する者の知見の活用
 - (3) 評価の実効性の向上に向けて

個表及び資料編

図表目次

I. 序論

表Ⅰ－1	平成14年度に実施された政策評価の件数
表Ⅰ－2	各府省別の政策評価の実施件数(事前評価・事後評価)
図Ⅰ－3	平成14年度における政策評価の実施状況と評価書の送付時期

II. 総論

表Ⅱ－1	各府省が評価の対象としようとする政策等の状況
表Ⅱ－2	行政活動のまとまり(施策)を単位とした評価の実施状況
表Ⅱ－3	評価法上の評価実施の義務付け等
表Ⅱ－4	評価の対象とされている事務事業のレベルの政策(事前評価)
表Ⅱ－5	各府省における評価の実施状況の類型

III. 各論

1 実績評価方式を用いた評価

表1－1	実績評価方式を用いた評価の方式
表1－2	実績評価方式を用いた評価の対象とする政策
表1－3	目標の設定の仕方及び想定されている目標期間
表1－4	評価書の送付時期と評価の対象とされた政策数
表1－5	達成すべき目標のアウトカム、アウトプット別の内訳
表1－6	「達成すべき目標」及び「測定指標」の設定状況
表1－7	目標に関し達成しようとする水準が数値化されている政策
表1－8	目標に関し達成しようとする水準が数値化されていない政策に設定されている指標の分類
表1－9	目標期間の設定状況
表1－10	政策手段別評価結果の概要(農林水産省)
表1－11	学識経験を有する者の知見の活用状況
表1－12	評価結果の端的な結論のパターン(総務省)
表1－13	パターン化した文言による評価結果の整理(財務省)
表1－14	評価の実施方法と目標の達成状況(農林水産省)
表1－15	「特記事項」欄の記入事項(厚生労働省)
表1－16	評価実施主体別の評価資料(農林水産省)

2－1 研究開発を対象とする評価

表2－1－1	研究開発の種類及び政策評価の対象
表2－1－2	大綱的指針による評価の時点別区分
表2－1－3	府省の研究開発評価指針における外部評価の活用方針

- 表2-1-4 大綱的指針における研究開発評価の結果の取扱い
- 表2-1-5 評価書の送付時期と評価の実施件数
- 表2-1-6 評価の対象とされた研究開発の件数
- 表2-1-7 研究開発課題の資金区分別件数
- 表2-1-8 研究開発課題の中間評価・事後評価における政策効果の把握
- 表2-1-9 研究開発課題の費用の記載状況
- 表2-1-10 研究開発課題についての外部評価の実施状況
- 表2-1-11 農林水産省による研究開発戦略の評価の概要
- 表2-1-12 総合科学技術会議による評価結果の概要

2-2 個々の公共事業についての評価

- 表2-2-1 公共事業関係費の事項(事業区分)と所管府省
- 表2-2-2 個々の公共事業についての評価の時点別区分
- 表2-2-3 評価書の送付時期と評価の実施件数
- 表2-2-4 評価の対象とされた個々の公共事業の件数
- 表2-2-5 評価の対象とされた事業の事業実施主体
- 表2-2-6 事前評価において対象とされた事業種別と件数
- 表2-2-7 再評価において対象とされた事業種別と件数
- 表2-2-8 完了後の評価において対象とされた事業種別と件数
- 表2-2-9 事前評価において対象とされた事業種別と評価の方式
- 表2-2-10 再評価において対象とされた事業種別と評価の方式
- 表2-2-11 完了後の評価において対象とされた事業種別と評価の方式
- 表2-2-12 学識経験を有する者の知見の活用状況
- 表2-2-13 評価で使用した情報の地方支分部局及び地方公共団体における提供状況

2-3 事業評価方式を用いたその他の政策についての評価

- 表2-3-1 各府省において事前評価の対象とする政策
- 表2-3-2 評価書の送付時期と評価の実施件数
- 表2-3-3 必要性の観点からの評価の状況(事前評価)
- 表2-3-4 有効性の観点からの評価の状況(事前評価)
- 表2-3-5 有効性の観点からの評価の状況(事後評価)
- 表2-3-6 学識経験を有する者の知見の活用状況

3 総合評価方式を用いた評価

- 表3-1 総合評価方式を用いた評価の目的(ねらい)及び評価においてとらえようとする政策等
- 表3-2 平成14年度の評価実施予定と評価書の送付状況
- 表3-3 評価の対象とされたテーマ

表3－4 学識経験を有する者の知見の活用状況
